

良識ある保守主義・情報公開

支持政党なしの方々の代表(前町田市議)

# 吉田つとむ

<編集発行>

支持政党なし TOKYO  
〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



インターンシップが好評  
若者育成・就業支援

## 保育園過剰時代とその收拾策

町田市では、まだまだ待機児童対策として、保育施設の増設が図られています。確かに、南地区のように必要とするところはあるでしょう。ただし、現実には新しい保育施設ができて、4-5歳児クラスの園児に関しては供給過剰な要素が出ていることは、以前にも議会で指摘してきたところです。私は、一つの推測として保育園経営が運営競争の時代に入っていると見なしています。



町田市は、そうした保育人数のミスマッチを回避する方法として、この間、民間事業者で募り「20年間期間限定認可保育所」を多数造ってきました。将来的に需要が減少した時に、それらが閉園すれば受給関係が維持されるとみる見方もありますが、私は市内各所の保育園を見ての感想ですが、この20年間期間限定認可保育所の運営者の中に、他に勝る幼児保育の能力も経営意欲も備えた事業者があると見込んでいます。

## 町田の企業創成事業の真価は①

町田市が企業創成事業の拠点とするのは、「株式会社町田新産業創造センター」と言い、平成25年1月に会社設立し、資本金5,000万円の大半を出資し、その施設(旧中町分庁舎)を提供したものです。このような施設はインキュベーター施設と呼ばれ、全国の自治体が躍起になって建設しあってきました。私は、前市長時代にそのインキュベーター施設の創出をいち早く求めましたが、この町田新産業創造センターの開設で要求の一部が実現したものと見なしてきました。ただし、一旦、そうした施設ができると、当然、「成果」を求めたくなるものですし、地方政治家は、その地域還元(成長企業の地元貢献)の内容も問うべきものと思っています。

台東区の台東デザイナーズビレッジの場合は、入居企業が成長して退出後に、区内でどのような事業展開をしているかを鳥瞰図的に把握していますが、町田市の場合はその取り組みがありません。地域に事業を創るという発想がないと、地方自治体の事業として、その存在意義が欠けてしまうと考えています。



★「支持政党なし TOKYO」は、支持政党を持たない、持ちたくない人の意見を代弁します。

★「良識ある保守主義」は、既存の社会体制を前提に法治主義による秩序を重視し、柔らかい思考にもとづいて議論をする立場です。

●吉田つとむは都議選に挑戦し6位落選(15543票)市議会で過去3期連続トップ当選



若い世代の育成に全力をささげる  
支持政党なしの方々の代表(前町田市議)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



インターン生募集中  
社会見学・体験勉強

## インターン体験記⑮-2 松村英美里

今回は、東京都美術館で現在特別展示されているゴッホ展に行ってきました。ゴッホの絵を愛し、ゴッホ作品の世界最多の個人収集家となったヘレーネ・クレラー=ミュラー氏の設立したクレラー=ミュラー美術館よりファン・ゴッホの絵画28点と素描・版画20点が展示されていました。「種まく人」や「夜のプロヴァンスの田舎道」といった世界的に評価の高い有名作品から、まだお金のない時代に書いていただろう素描などゴッホの制作年代ごとに展示が進められ、画家としての成長も如実に分かるような展示方法となっていました。



筑波大1年生 松村英美里(第45期研修生)

たしかに、世界的に評価の高い有名作品の数々は、評価を受けるだけのことがあると実際に鑑賞して確信しました。ゴッホのゴーギャンとの出会いや日本画との出会いは、やはり彼に強い影響を与え、彼を成長させたのだろうと作品を追ってみていくことでよく分かりました。投資家としてのヘレーネの先見の

明と収集家としての絵画への愛に尊敬するとともに、「現代にもこんな素敵な文化人がいればカッコいいのにな」と思いました。深い関心を持っていることが伺えます。



## インターン第49期生(2022年春季)募集

若者が人生の歩むべき道を定め、自分の職業を選択していくプロセスをバックアップすることが最上の喜びです。吉田つとむが主宰するインターンシップには、過去24年間で女子62名、男子34名の学生が研修体験に参加し、多くが堅実な就職を果たしています。最近の10年以上は、外部のマッチング機関に頼らない独自に研修生を募集、研修プログラムを設定し、現在では、「就活支援コーディネーター」と称しています。

現在は、2022年春のインターンシップ参加者を募集中です。掲載の松村英美里さんは、高校3年生から継続しています。

- ★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、多数の体験者が実社会で活躍中。
- ★ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎このレポートは、吉田つとむが市議会議員の時から継続して発行するものです。